

| | | | | |
|------|---------------------------------|------------|----|--|
| 番号 | 114 | 大地蔵（柿の木地蔵） | | |
| 所在地 | 有田町上幸平1丁目10-10 | | | |
| 災害別 | 文政11年（1828年）台風（シーボルト台風）の暴風による大火 | | | |
| 目的別 | 伝承 | 建立年 | 不明 | |
| 特記事項 | | | | |



写真：有田町歴史民俗資料館提供

文政11年の子年の大風、通称シーボルト台風による有田大火を今に伝える大地蔵。桧で作られ、高さは約191センチある。有田町上幸平の三空庵広場脇に祀られており、以前はこの広場に大きな柿の木があったため、「柿の木地蔵」とも呼ばれていた。

案内表示板には次のように記されている。

「三空庵広場 昔、この地に、三空庵という庵があったので、三空庵広場と呼ばれている。広場の西には六地蔵があり墓地に眠る死者の霊をとむらっている。東には地蔵堂があり、木で作られた大きな地蔵が祀られている。この大地蔵は江戸時代前期の作で1825年（文政8年）

京の仏師により彩色された。

1828年（文政11年）の大火の際、徳三郎という人が大地蔵を自分の家に避難させたという記録が残っているが、この時軽くなってくれるように拝み、背中にかついで避難させたとの言い伝えもあり、今でも大切に祀られている。」

有田町史によれば、この伝承を裏付けるように、像の後背には、墨で「文政11年8月9日の子の刻にあたり、はげしい風雨のなか大火となったので、徳三郎が駆けつけ、我が家に・・・」という意味のことが記されているとのことである。



赤外線写真：有田町歴史民俗資料館提供



三空庵広場

昔、この地に三空庵という庵があったので、三空庵広場と呼ばれている。広場の西には六地藏があり、墓地に眠る死者の霊をどわらっている。東には地藏堂があり、水でつくられた大きな地藏が祀られている。この大地藏は江戸時代前期の作で、1825年（文政8年）京の仏師により彩色された。1828年（文政11年）の大火の際、徳三郎という人が大地藏を自分の家に避難させたという記録が残っているが、この時軽くなっていくように様子、臂中にかついで避難させたの言い伝えもあり、今でも大切に祀られている。

Sankoan Hiroba

Once upon a time there was a hermitage called "Sankoan" here and since then this place has been called "Sankoan Hiroba" ground.

In the western part of this ground, there are Rokujizo, six stone images of Buddha, for people's mourning for a dead person.

In the eastern part, there is Jizodo, a temple for Jizo, where a big wooden image of Buddha is dedicated.



国土地理院電子国土 Web